

令和2年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

議事要旨

1. 議事

(審議)

- (1) 渋滞対策の進捗と効果・影響について
- (2) 今後の渋滞対策について

(報告)

- (1) コロナ禍の交通影響分析について

2. 議事要旨

- ・ 前回以降の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・ 国道1号掛川バイパスへのSL看板の設置により、旅行速度が向上し一定の渋滞緩和が見られ、朝ピーク時の平均旅行速度が向上したことを確認した。
- ・ 国道139号西富士道路広見IC北進オフランプは、ソフト対策の効果は限定的で、依然、渋滞・滞留が発生していることを確認した。
- ・ 国道1号掛川バイパス下り線の西郷IC付近では、交通集中・加速車線長不足に起因した顕著な速度低下が発生していることから、西郷IC下りオンランプの改良工事を進めることを確認した。
- ・ 国道1号安新歩道橋交差点は、国道1号方面レーンの2車線化に向け、関係機関協議及び工事を進めることを確認した。
- ・ 国道1号長沼交差点等の長沼エリアにおける渋滞対策については、広域的な道路ネットワーク形成の視点にも留意しつつ、令和3年度夏までに立体化の対策の方向性を長沼WGにおいてとりまとめられるよう、国と静岡市が連携して検討を進めることを確認した。
- ・ 国道1号南安倍交差点～手越原交差点は、南安倍交差点において渋滞が発生していること、沿道施設の出入り等で事故が発生しているほか、従道路側においても渋滞が発生していること、死傷事故率が国道1号現道区間平均を上回る箇所が存在していることを踏まえ、渋滞・事故の要因分析を進めることを確認した。
- ・ 国道1号静清バイパスは、IC交差点を先頭とするオフランプの本線滞留が昭府IC、瀬名ICで発生しているとともに、1車線ランプの2車線利用が確認されたことを踏まえ、今後、渋滞の要因分析を進めることを確認した。
- ・ 国道138号須走道路・御殿場バイパス(西区間)は、須走口南IC～ぐみ沢IC間が令和3年4月10日に開通予定であり、開通により国道138号現道の渋滞緩和が期待されることを確認した。